



08 July 2022

リリースノート

# AtomOS 10.80.00

CONNECT に関するアップデート

## Ninja V と ATOMOS CONNECT

---



### 重要：

このファームウェアアップデートで導入された機能は、Ninja V を ATOMOS CONNECT アクセサリーと組み合わせて使用する場合にのみ利用可能です。

本リリースで導入された新機能の詳細につきましては、FAQ をご覧ください。  
または、ユーザーマニュアルの CONNECT セクションをご覧ください。

<https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/sections/4978024946063-NINJA-V-USER-MANUAL>

Ninja V と ATOMOS CONNECT の組み合わせで問題が発生した場合は、[support@atomos.com](mailto:support@atomos.com) までご連絡ください。

### インストール時の手順：

---

ATOMOS では Ninja V を主電源に接続し、ファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

- ・ フォーマットされた対応 SSD をドッキングステーションに挿し込んでください。
- ・ ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMNJV.FW を SSD のルートにコピーしてください。
- ・ SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)

- Ninja V に SSD を挿し込んでください。
- Atomos Connect をお持ちの方は、モジュールのファームウェアアップデートをする。  
必要がありますので、電源投入前にモジュールが Ninja V に接続されていることをご確認ください。
- Ninja V の電源を入れると、自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。
- Ninja V の電源が既にオンになっている場合は、新しいファームウェアを含む SSD を挿入すると、ファームウェアの更新を実行するよう促されます。
- アップデートが完了すると、Ninja V の電源がオフになります。
- Ninja V の電源を入れると、Ninja V が Atomos Connect のアップデートを開始します。
- ファームウェアのバージョンを確認します。(menu>info tab)

注意：Ninja V にファームウェア 10.80.00 が正常にインストールされると、ATOMOS CONNECT のファームウェアを更新するために本体が再起動されます。  
ファームウェアのインストール中は電源を切らないでください。

## 新機能：

---

### ATOMOS Cloud Studio に接続

- **Ninja V をペアリングして、新しいクラウド型ビデオ制作サービスを利用する準備をしましょう。**
  - CONNECT のメニューボタンで Ninja V を CONNECT モードにする。
  - Wi-Fi または、Ethernet で Ninja V をインターネットに接続する。
  - ATOMOS Cloud Studio のアカウントを ATOMOS CLOUD STUDIO から作成します。
  - アカウントに新しいデバイスを追加し、Ninja V を選択します。
  - Ninja V 上の CONNECT メニューで「Pair」ボタンを押した後に表示される 3 つの英単語を ATOMOS CLOUD STUDIO 上で入力します。

### ATOMOS stream でライブ配信

- **YouTube や Twitch に 1080p (HD) で配信**
  - atomos.cloud 経由のストリーミング出力先の選択と設定をします。  
送信先は Twitch と YouTube に設定可能です。
  - 一度設定すると、Ninja V はクラウドからストリーミング先のパラメータを受信し、LIVE ボタンを押すことでストリーミング出力を開始・停止することができます。  
**注意：**ライブボタンはストリームの構築中は黄色で表示され、ストリームが最低 1Mbps を確立すると赤にロックされます。
  - 対応する YCC ビデオ入力解像度：3840×2160、1920×1080  
**注意：**1080p 以上の解像度は、1920×1080 ピクセルにダウンサンプリングされます。
  - 対応入力フレームレート：23,98p、24p、25p、29.97p、50p、59.94p、60p  
**注意：**Facebook live 及びカスタム RTMP へのストリーミングは現在利用できません。  
Cloud Studio で近日中に有効になる予定です。

## 追加入出力とネットワークオプションについて

- **プロフェッショナルな 12G SDI 入力の接続性**
  - YCC ビデオ信号から最大 4Kp60 で ProRes と DNx を記録。
  - SDI RAW から最大 6Kp30 または 4Kp60 で記録 ProResRAW を記録するには、オプションの SDI RAW アクティベーションを購入、実行する必要があります。  
**注意：** Avid DNx および、Apple ProRes RAW レコーディングフォーマットも <http://my.atomos.com> からアクティベーションする必要があります。
- **Ninja V をインターネットに接続する**
  - Wi-Fi6 によるワイヤレス接続
  - RJ45 1GbE ケーブルをネットワーク ルーター / スイッチに接続
- **Air Glu によるプロフェッショナルワイヤレス SYNC**
  - Sync Mesh を作成または接続し、RF によるワイヤレスタイムコードシンクを実現。  
**注意：** このリリースでは、Bluetooth TC Sync と Atom Remote アプリのコントロールは、無効になっています。

## バグ修正：

---

- ファームウェアバージョン 10.77 で無効になった Frame Grab と Onion Skin ツールを再有効化。  
この機能は、[my.atomos.com](http://my.atomos.com) で「Get Creative」オプションを有効化する必要があります。

## 今後のリリースで修正予定の既知の制限事項：

---

- Facebook Live へのストリーミングは、現在 Atomos Cloud の送出先として選択、利用できません。
- **注意：** ストリーミングは、標準的な YCC422 ビデオ入力を使用している場合のみ利用可能です。
- 録画 / 再生モードを切り替える際、Wi-Fi とイーサネットの再接続に最大 10 秒かかることがあります。
- Wi-Fi の有効化が断続的に行われ、システムの再起動を促すダイアログメッセージが表示されることがあります。
- 録画コーデックとして ProResRAW または H.265 を選択した場合、ライブストリーミングはできません。
- ProRes または DNx で 1080p23.98/24 を記録すると、かすかなバックグラウンドノイズが発生することがあります。
- X-H2S が通常の YCC ビデオ信号を出力している場合、Timecode によるトリガー操作はできません。
- HDMI RAW を出力する Z CAM E2 カメラと接続した場合、記録コーデックが ProRes または DNx に設定されていると、Ninja V は自動的に警告メッセージを表示せず、スクランブルされた画像を表示することになります。手動で ProRes RAW コーデックに変更することでこの問題は解決し、モニタリングとレコーディングに影響はありません。

- YCC SDI 入力 で ProResRAW 録画モードで起動した場合、モニタリング映像が正しく表示されないことがあります。ProResRAW モードで Ninja V に RAW 信号を出力しながらのモニタリングと録画時は、正しく動作します。
- AtomX SYNC Module を使用時、記録フォーマットに H.265 を選択した場合、ネットワーク記録制御は使用できません。
- AirGlu RF-SYNC ネットワークメニューは、接続された AirGlu デバイスを表示しないことがあります。クライアントデバイスはタイムコードを受信し、SYNC ネットワーク ID を表示します。
- AirGlu BT- は有効ではなく、デバイスは Bluetooth を受信しペアリングすることはできません。
- AirGlu BT-Atom Remote App によるリモートコントロールはサポートされていません。
- 再生モードにおいて、最初の ProResRAW ファイルを選択すると、アーティファクトが見えることがありますが、これは録画された物ではなく、最初に選択したクリップの後に再生されるクリップには見られません。
- EOS R5 C で記録した ProResRAW クリップを Ninja V で再生すると、収録モードと比較して波形に若干の不一致があります。
- LUMIX DC -GH5S から以下のビデオ信号は、Ninja V の ProRes, DNx ,H.265 では非対応となります。
  - C4K 8bit 150M 60p
  - C4K 8bit 150M 50p
  - 4K8bit 150M 50p
- Olympus OM-D E-M1 III 及び OM-1 の ProRes RAW ビデオ信号に対して、Ninja V を再生モードと収録モードに切り替えた場合、Ninja V 上で RAW ビデオをロックしない場合があります。
- ケーブル接続の不具合により、Sony a7SIII 及び Olympus OM-D E-M1III からのビデオ信号が一瞬解除された場合、Ninja V が自動的に録画を再開しない場合があります。
- ProResRAW モードでは、非 RAW の Dual Link SDI ビデオモニターすることはできません。Dual Link SDI モードをモニターし収録するには、ProRes または DNx モードを使用してください。
- Panasonic Varicam LT からのデュアルリンクビデオは、シングルリンクビデオモードから切り替えるとロックされない場合があります。この場合は Ninja V を再起動してください。
- HDMI Compatibility モードを選択した状態で、異なるカメラモデルを接続する場合は、新しいカメラを接続する前に必ず Ninja V を再起動してください。